

JIS

電子式湿球黒球温度（WBGT）指数計

JIS B 7922 : 2023

(JSA)

令和 5 年 2 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 計測計量分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	竹 歳 尚 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	斉 藤 博	日本精密測定機器工業会
	佐 藤 恵 子	一般財団法人日本品質保証機構
	渋谷 眞 人	東京工芸大学名誉教授
	辻 勝 也	一般社団法人日本電気計測器工業会
	高 橋 徹	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	高 橋 泰 弘	株式会社ミットヨ
	野 中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	古 谷 涼 秋	東京電機大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 29.3.21 改正：令和 5.2.20

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 5.2.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

素 案 作 成 者：一般社団法人日本電気計測器工業会

(〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-15-12 計測会館)

審 議 委 員 会：計測計量分野産業標準作成委員会 (委員長 竹歳 尚之)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 測定原理	2
5 測定範囲	3
6 性能	3
6.1 精度	3
6.2 再現性	4
6.3 安定性	4
6.4 商用電源使用指数計の機器性能	4
7 構造	4
8 近似計算による推定	4
9 性能試験	5
9.1 試験状態	5
9.2 試験に用いる設備及び器具	5
9.3 試験方法	5
10 表示	6
11 取扱説明書	6
附属書 A (参考) 自然湿球温度への近似換算の例	7
附属書 B (参考) 直径 150 mm 黒球温度への近似換算の例	9
附属書 C (参考) 自然湿球温度及び黒球温度の推定値を求める際の併行測定の例	10
附属書 D (参考) WBGT による熱中症リスクの評価	11
参考文献	12
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 7922:2017** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

電子式湿球黒球温度（WBGT）指数計

Electronic wet-bulb globe temperature (WBGT) index meter

1 適用範囲

この規格は、湿球黒球温度（WBGT）指数（以下、WBGT 指数という。）を測定するために用いられる、自然湿球の代わりに湿度センサを用い、演算によって WBGT 指数を算出する電子式 WBGT 指数計（以下、指数計という。）について規定する。ただし、自然湿球をもつ測定器、及び黒球をもたない測定器には適用しない。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

JIS C 1302 絶縁抵抗計

JIS Z 8504 熱環境の人間工学－WBGT（湿球黒球温度）指数を用いた熱ストレス評価

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

湿球黒球温度、*WBGT* (wet-bulb globe temperature)

暑熱環境にばく（曝）露された個人における熱ストレスを評価するための、自然湿球温度、黒球温度及び気温で演算される指数（°C）

注釈 1 *WBGT* は労働環境、一般生活環境、スポーツ環境などにおいて、暑熱環境にばく（曝）露されることによる熱中症の発症リスクを把握するために用いる（附属書 D 参照）。

3.2

WBGT 指数

指数計のセンサの値から演算によって得られた、*WBGT* に相当する値（°C）

3.3

自然湿球温度、 T_{nw}

人体周辺の環境に置かれた自然な対流及び熱放射にさら（曝）された、ぬ（濡）れたガーゼで覆った温度センサによって示す値（°C）